

さつまいも育苗管理の注意点

- 1 種イモを伏せ込むときは、罹病したイモ、罹病が疑われるイモは伏せ込まないようにしましょう。
 - 育苗床で病気が発症すると、他の苗に病気が伝染します。
 - また、その苗を本ほに持ち込むと被害が大きくなります。



- 2 育苗床で、病気が発症したら、株ごと抜き取って、持ち出しましょう。
 - 隣の株へ、病気が移らないよう、Zボルドーやジーファイン水和剤を散布しましょう。
 - 抜き取った株跡への補植もやめましょう。



【Zボルドー 500倍, 100~300L/10a】

【ジーファイン水和剤 1000倍, 200~300L/10a】

- 3 苗の伸びが悪いときは、温度管理に注意しましょう。
 - • • ハウス内の温度が低くて、生育が悪い事例が多いです。
- 4 採苗するときは、地際から5cm以上離して切り取りましょう。
 - • • 地際部ほど、基腐病の菌の密度が高い。
- 5 採苗したら、苗消毒を行きましょう（消毒液は必ず使用当日に調整）。
 - 【ベンレート水和剤 500~1000倍, 30分浸漬】
 - 【ベンレートT水和剤20 200倍, 30分浸漬】

~~~ さあ、植え付けましょう ~~~

大隅地域サツマイモ基腐病対策プロジェクト本部  
肝属・曾於地区さつまいも・でん粉対策協議会